

JBL
by HARMAN
LIVE770NC
取扱説明書


安全上のご注意


- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。


警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。


 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。


 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

 分解してはいけないことを示す記号です。


 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。


 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。


 AC電源アダプタをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。


 触れてはいけないことを示す記号です。

警告


 煙が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。


 USB端子やプラグに水分や汚れが残ったまま使用しない。火災・感電の原因になります。


 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。


 分解や改造をしない。感電の原因になります。


 調理台や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。

 交通安全のために自転車やバイク、自動車の運転中にヘッドホンを使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

 歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

 ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

 薬物厳禁。ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

- ❗ 電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏れた電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

- ❗ 電池について以下のことに注意する。本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所では本機を使用する場合、送信/受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に掲示している証明表示を消したりはがすこと。

周波数について

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約10mです。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

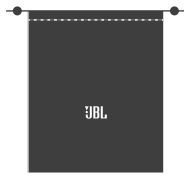
付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

ヘッドホン本体



キャリングポーチ



充電用ケーブル
(Type-A ⇄ Type-C)



オーディオケーブル
(約 120cm)

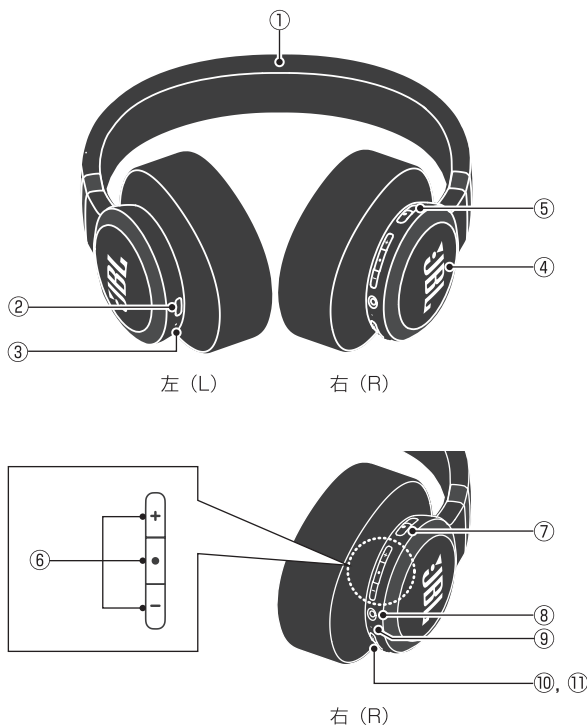


QUICK START GUIDE (多言語取扱説明書)

安全に関する重要な指示 / WARRANTY CARD (保証書)



各部の名称と働き



- ① ヘッドバンド
長さを調節して装着してください。
- ② USB コネクター (左チャンネル下部)
- ③ バッテリーインジケーター
「▶バッテリーインジケーターの状態」参照。

④ 右イヤークップ外側のタッチ操作

- 音楽再生操作
タッチすることにより再生 / 一時停止します。
2 回続けてタッチすると、次の曲にスキップします。
3 回続けてタッチすると、演奏中の曲の先頭に戻ります。
曲の先頭で 3 回続けてタッチすると前の曲にバックスキップします。
- ハンズフリー操作
携帯電話・スマートホン Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。
着信中に 2 回続けてタッチすると電話を受けます。
通話中に 2 回続けてタッチすると電話を切ります。
通話中に 2 秒以上タッチし続けるとマイクのミュート (消音)、ミュートの解除をします。
- 音声アシスタント操作
2 秒以上タッチし続けると音声アシスタントを利用できます。「音声アシスタントを利用する」参照。

⑤ 電源 / Bluetooth インジケーター

「▶電源 / Bluetooth インジケーターの状態」参照。

⑥ マルチファンクションボタン

- + ボタン
押すごとに音量を上げます。2 秒以上押し続けると次の曲にスキップします。
- ● ボタン
押すごとに再生 / 一時停止します。着信中に押すと電話を受けます。通話中に押すと電話を切ります。2 秒以上押し続けるとマイクのミュート (消音)、またはミュートの解除をします。
- - ボタン
押すごとに音量を下げます。2 秒以上押し続けると演奏中の曲の先頭に戻ります。曲の先頭で 2 秒以上押し続けると前の曲にバックスキップします。

⑦ 電源ボタン

⑧ オーディオケーブル端子

⑨ ANC インジケーター

「▶ANC インジケーターの状態」参照。

⑩ Bluetooth ボタン (✳)

1 回押すとペアリング済みの Bluetooth デバイスと自動的に接続します。

⑪ ANC (ノイズキャンセリング) ボタン (ANC)

1 回押すごとにノイズキャンセリング、アンビエントアウェアのオン、オフを切り替えます。2 回押すとトークスルーをオンにします。
「アンビエントアウェア機能 / トークスルー機能」参照

JBL Headphones アプリに接続すると、より高度な制御が可能になります。

充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。

充電時間は、約 3 時間*です。

* 充電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 本機の USB 端子に充電用ケーブルを接続する。
本機右チャンネル上部の USB コネクタに付属の充電用ケーブルを接続します。
- ② 充電用ケーブルのもう一方の端子を、お手持ちのパソコンの USB 端子に接続する。
または、市販の USB 対応 AC 電源アダプタを使用して、コンセントに接続します。
AC アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。



充電中はバッテリーインジケータが赤く点灯します。

- 本機とパソコンを充電用ケーブルで接続しても、パソコンに保存された楽曲を本機で聞くことはできません。
- 充電中は本機を使用することはできません。
- Bluetooth を使用しない場合や電池切れの際は、付属のオーディオケーブルでオーディオ機器と接続することで通常のヘッドホンとしてお使いいただけます。

充電が完了すると

バッテリーインジケータが消灯します。
充電用ケーブルを取り外してください。

電池残量について

電池残量が少なくなるとバッテリーインジケータが赤く点滅します。
インジケータが赤く点滅したら充電してください。

急速充電について

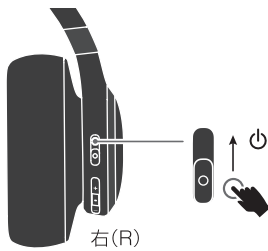
本機の急速充電機能により、5 分充電するだけで最大 4 時間の使用が可能です。

Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ 電源を入れる

- ① 電源ボタン (●) を上方にスライドして本機の電源を入れる。
電源を入れると、電源 / Bluetooth インジケータが青く点滅し、ペアリングモードになります。



- ② デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
ペアリングが完了すると、電源 / Bluetooth インジケータが青く点灯します。
- ③ 本機の右チャンネルと左チャンネルを確認して装着する。
本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。



▶ バッテリーインジケータの状態

バッテリーの残量	インジケータ
残量小	赤で点滅
充電中	赤で点灯
充電完了	消灯

▶ 電源 / Bluetooth インジケータの状態

動作	インジケータ
電源オン	青で点滅
Bluetooth ペアリング待機中	青で点滅
Bluetooth ペアリング完了	青で点灯
Bluetooth 未接続	青でゆっくり点滅

▶ ANC インジケータの状態

動作	インジケータ
ノイズキャンセリング	白で点灯
アンビエントアウェア	
トークスルー	

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイスの一覧から「JBL LIVE770NC」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



Android (6.0 以上) 端末の場合：

Google Fast Pair 対応デバイスでは、画面表示にしたがって画面をタッチします。

携帯電話・スマートフォンでハンズフリー接続を行う場合：

- ① 携帯電話・スマートフォンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
 - 登録にはお使いの携帯電話・スマートフォンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
 - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートフォンの取扱説明書も併せてご覧ください。
- ② デバイスの一覧から「JBL LIVE770NC」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。

その他のデバイス（携帯電話・スマートフォン・オーディオプレーヤーなど）の場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると、Bluetooth インジケーターが青で点灯します。
- ② デバイスの一覧から「JBL LIVE770NC」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- 以下の場合、Bluetooth 接続に障害を起す場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。使用環境を変えてご使用ください。
 - 多数の無線 LAN 機器があるところ、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

すでに Bluetooth 対応デバイスとペアリング済みの場合：

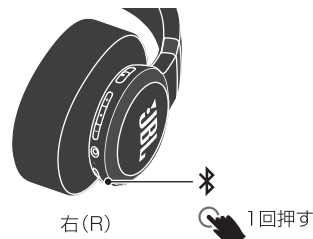
本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶しています。Bluetooth ボタンを 1 回押すと Bluetooth デバイスと自動的に接続します。接続が完了すると Bluetooth インジケーターが青で点灯します。

※ Bluetooth 対応デバイスの「Bluetooth」が「オン」になっている必要があります。

▶ 2 台目のデバイスを接続する (マルチポイント対応)

本機には、同時に最大 2 台のデバイスを Bluetooth 接続して 1 台を電話待ち受けにすることができます。

- ① 1 台目のデバイスをペアリングする。
- ② 2 台目のデバイスをペアリング設定状態にする。
- ③ Bluetooth ボタンを 1 回押す。



- ④ 2 台目のデバイスで「JBL LIVE770NC」を選択し、接続する。
 - 2 台のデバイスの音楽を同時に聞くことはできません。聞きたいデバイス上で本機の名前を選択して切り替えてください。
 - 2 台の電話の同時待ち受けはできますが、2 台同時に通話することはできません。
 - すべての Bluetooth 対応デバイスでの動作を保証するものではありません。

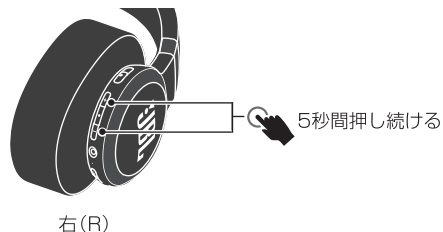
▶ 電源を切る

電源オンの状態で電源ボタンを 2 秒以上押し続けます。

※ アプリからも電源オフにすることができます。

▶ リセットする

- ① 本体がペアリングされた状態で右チャンネルの音量+ / - ボタンを同時に 5 秒間押し続ける。



▶ Bluetooth 接続を解除する

Bluetooth 対応デバイスの「このデバイスの登録を解除」を選択してください。

▶ 別のデバイスと新たにペアリングする

現在のデバイスの Bluetooth 接続を解除してください。

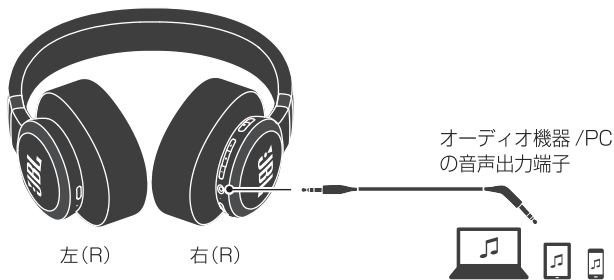
オーディオケーブルで音源機器と接続する

Bluetooth 接続をせず、付属のオーディオケーブルでオーディオ機器や PC などの音源機器の音声出力端子（3.5mm ステレオミニジャック）に接続し、音声を再生することができます。

ご注意

オーディオ機器や PC の音量は低めに設定して接続してください。再生を始めると、思わぬ大音量となることがあります。

- ① 本機の電源を切る。
- ② オーディオケーブルの片方のプラグ（2.5mm）を本機右チャンネルのオーディオケーブル端子に接続する。
- ③ もう一方のプラグ（3.5mm ステレオミニプラグ）をオーディオ機器や PC の音声出力端子に接続する。



※ オーディオケーブルを接続して音声を再生するときは、本機の電源をオフにしてください。オーディオケーブルを接続すると、ハイレゾオーディオで再生できます。ハイレゾオーディオは日本オーディオ協会 (JAS) が規定する高解像度の音質です。

JBL Headphones アプリを使用する

JBL Headphones アプリを使用して、本機をさまざまにカスタマイズしたり、本機の機能をフルに活用したりすることができます。

▶ JBL Headphones アプリのインストール

- ① お使いのデバイスのアプリストアで「JBL Headphones」を検索してダウンロード・インストールする。
 - ※ インストールしてもすぐに起動はしないでください。
- ② 本機とお使いのデバイスを Bluetooth 接続する。
- ③ JBL Headphones アプリを起動する。
 - ※ アプリが本機を認識し、アプリを使用できる状態になります。
 - ※ タブレットや iPad では利用できません。

▶ JBL Headphones アプリでできること

本機の機能のフル活用 (例)

- ・ バッテリー残量表示
- ・ 自分に合ったサウンドにカスタマイズする Personi-Fi
- ・ 高い没入感の臨場感あるサウンド体験を楽しめる空間サウンド
- ・ アクションボタンとタッチパッドの操作を選択する
- ・ 視聴コンテンツやモードによって Bluetooth を最適化するオーディオ&ビデオモード
- ・ ヘッドホンを外すとサウンドが一時停止し、再度装着すると自動的に再生を再開する (自動再生&一時停止)
- ・ 周囲の音を増幅し会話音声も増強するパーソナルサウンドアンプリフィケーション
- ・ 左右のチャンネル間の音量バランス調整する
- ・ 音声プロンプト (ガイダンス) を使用する
- ・ 最大音量のリミッターにより、聴力の保護とバッテリー寿命の向上を実現
- ・ バッテリー節約の設定をする (オートパワーオフ)

イコライザー

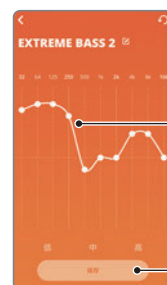
6 種類のイコライザーを選択できます。選択したイコライザーを自分好みの音質に設定できます。さらにカスタマイズしたイコライザーを追加することもできます。

- ① JBL Headphones アプリを起動する。
- ② イコライザーをタップする。
- ③ ◀または▶をタップしてイコライザーを切り替えるか、イコライザー名をタップして用意されているイコライザーをタップする。



選択したイコライザーをカスタマイズするには

- ① 設定ボタン ⚙️ をタップする。
- ② グラフをドラッグして調整する。
- ③ [保存] ボタンをタップする。



グラフをドラッグ

設定ボタン

保存ボタン

※ プリセットイコライザーの数や内容は変更になる場合があります。

ボイスアウェア機能

ハンズフリーで通話中、本機を通して聞こえる自分の声の音量を調節することができます。

- ① JBL Headphones アプリを起動する。
- ② 「ボイスアウェア」の項で機能をオンにし、音量を「低」「中」「高」のいずれかに設定する。



ノイズキャンセリング機能

本モデルではお好みでノイズキャンセリングをカスタマイズすることができます。

「アダプティブノイズキャンセリング」がオンの場合は、周囲のノイズレベルなどをリアルタイムに感知、自動補正します。

オフの場合は、お好みで7段階のノイズキャンセリングレベルを選択することができます。

- ① JBL Headphones アプリを起動する。
- ② アンビエントサウンドの操作をオンにする。
- ③ ANC をタップする。
- ④ 「ノイズキャンセリングをカスタマイズする」をタップする。



- ⑤ アダプティブノイズキャンセリングをオフにする。



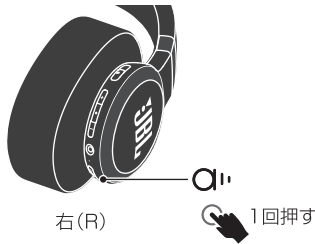
オフにすると、レベルバーが表示される。



オフにすると、ノイズキャンセリングのレベルを選択できる。

アンビエントアウェア機能 / トークスルー機能

Bluetooth 接続でデバイスの再生音を聞いているとき、アンビエントアウェア機能をオンにすると周囲の音が比較的聞きやすくなります。トークスルー機能をオンにすると一時的に音量が下がり、本機を装着したままで周囲の音が聞きやすくなり、会話をすることもできます。それぞれの機能をオン / オフするには ANC ボタン (Q) を使用します。



右 (R)

1 回押す

アンビエントサウンドの操作を使用するときは、JBL Headphones アプリの「タッチ操作」でアクションボタンの機能を「アンビエントサウンドの操作」に設定してください。

▶ アンビエントアウェア機能を使用する

アンビエントアウェア機能のオン / オフおよびノイズキャンセリング機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

- ① 本機とデバイスを Bluetooth 接続する。
- ② 本機の ANC ボタン (Q) を 1 回押す。
押すごとに切り替わり、ヘッドホンから音声プロンプトが聞こえます。
※ 音声プロンプトのオン / オフ切り替えおよび言語の設定を JBL Headphones アプリで行うことができます。

▶ トークスルー機能を使用する

トークスルー機能をオンにするとアンビエントアウェア機能は無効になります。

- ① 本機とデバイスを Bluetooth 接続する。
- ② 本機の ANC ボタン (Q) を 2 回続けて押す。
2 回続けて押すごとに切り替わり、ヘッドホンから音声プロンプトが聞こえます。

低音音量ダイナミック EQ

低音音量ダイナミック EQ をオンにすると、高音域と低音域を増強し、低音音量で聴いても高い再現性のパフォーマンスを維持します。

- ① JBL Headphones アプリを起動する。
- ② 低音音量ダイナミック EQ をオンにする。



音声アシスタントを利用する

音声アシスタントとして、Siri、Google アシスタント、Amazon Alexa を利用できます。

▶ Siri

iPhone を使用する場合、本機で Siri に話しかけて利用することができます。初期設定時に「Siri」を有効にしていない場合は、「設定」から「Siri」を有効にしてください。

使用する

右イヤークップ外側を 2 秒タッチし続けてから Siri に話しかけます。



右 (R)

▶ Google アシスタント

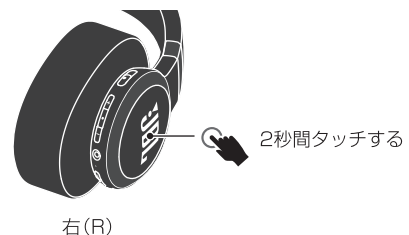
Android デバイスを使用する場合、本機で Google アシスタントを起動し、音声や文字入力です Google アシスタントを利用することができます。

Google アシスタントを利用するときは、本機とデバイスを Bluetooth 接続しておいてください。また、JBL Headphones アプリで Google アシスタントを選択してください。

使用する

Google アシスタントを起動し、本機を選択して画面の指示にしたがって必要な設定を行います。

右イヤークップ外側を 2 秒タッチし続けてから Google アシスタントに話しかけます。



右 (R)

- ※ アプリで事前に Google アシスタントを選択設定してウェイクワードを登録すると、ボタン操作なく話しかけるだけでも使用することができます。
- ※ 同時に複数の音声アシスタントを有効にすることはできません。

▶ Amazon Alexa

デバイスに Amazon Alexa をインストールしてある場合、本機で Amazon Alexa に話しかけて利用することができます。

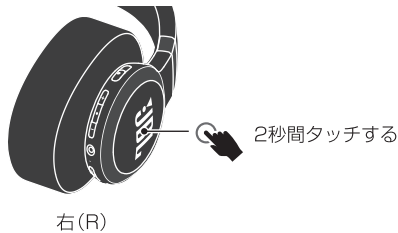
Amazon Alexa を利用するときは、本機とデバイスを Bluetooth 接続しておいてください。また、JBL Headphones アプリで Amazon Alexa を選択してください。

準備

- ① デバイスの Amazon Alexa を起動する。
- ② 画面の指示にしたがって操作を進め、Amazon Alexa に話しかけられる状態にする。

使用する

右イヤークップ外側を 2 秒タッチし続けてから Amazon Alexa に話しかけます。



- ※ アプリで事前に Amazon Alexa を選択設定してウェイクワードを登録すると、ボタン操作なく話しかけるだけでも使用することができます。
- ※ Alexa 機能をフルに活用するには、Android™ 6.0 以降が必要です。Alexa は使用する国、または地域によっては利用できない場合があります。

主な仕様

タイプ	ワイヤレスノイズキャンセリング オーバーイヤーヘッドホン
ドライバーサイズ	40mm ダイナミックドライバー
周波数特性	BT 接続時 20Hz-20kHz 有線接続時 20Hz-40kHz
インピーダンス	32 Ω
入力	Bluetooth、ステレオミニ
Bluetooth	Bluetooth 5.3
対応プロファイル	A2DP 1.4、AVRCP 1.6.2、HFP 1.8
電池	リチウムイオンバッテリー
充電時間	約 3 時間
連続使用時間 (音楽再生時) *	約 50 時間 (Bluetooth オン、ANC オン時) 約 65 時間 (Bluetooth オン、ANC オフ時) 約 40 時間 (Bluetooth オフ、ANC オン時)
質量	約 255g

- ※ 電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。充電・再生時間は使用環境によって異なります。
- 高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたり、風通しの良い涼しい場所で保管してください。
- 電池を保護するため、半年に一度は充電を行うことをおすすめします。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	音源のデバイスと Bluetooth で接続されているかご確認ください。
	Bluetooth デバイスの音量をご確認ください。
	Bluetooth デバイスの再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ 製品に関するお問い合わせ

<https://jp.jbl.com/support-product.html>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間 : 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2023 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.